

2021年度 研究報告

学習者用デジタル教科書に関する調査結果 についてまとめた論文が 『教育メディア研究』に掲載されました！

先端教育研究開発コアのデジタル教科書チームが中心となって実施した学習者用デジタル教科書に関する調査結果をまとめた論文が『教育メディア研究』第28巻1号に掲載されました。

本文は、J-STAGE よりお読みいただけます。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jaems/28/1/28_33/_article/-char/ja

 研究論文

教育メディア研究 Vol.28, No.1, 33-44

学習者用デジタル教科書の機能に対する教員の期待感の構造
—活用研修のデザインに向けて—

森 山 潤(兵庫教育大学)
和田直久(東京書籍株式会社・
兵庫教育大学)
殿岡貴子(東京書籍株式会社)
徳島祐彌(兵庫教育大学)
阪上弘彬(兵庫教育大学)
永田智子(兵庫教育大学)

学習者用デジタル教科書の普及・活用のための教員研修デザインに向けて、学習者用デジタル教科書の機能に対する教員の活用期待を構造的に把握した。小・中学校教員計1,264名を対象に、学習者用デジタル教科書の計25機能に対する活用期待を調査し、因子分析を行った。その結果、F1「付加的な情報アクセス・制御機能」、F2「紙面の視認性向上機能」、F3「紙面への書き込み機能」、F4「文章読み上げ機能」の4因子が抽出された。抽出された因子のうち、指導者用デジタル教科書の使用経験がある教員はF4の水準が、小学校教員は中学校教員よりF2、F4の水準がそれぞれ高かった。

キーワード：学習者用デジタル教科書，教員，活用期待，調査，教員研修

